

キャリア支援研究会の歩みとこれから

■キャリア支援研究会の当初の基本コンセプト

「実践現場と研究・学知をつなげる」場をつくりたいという思いから 2010 年 8 月に立ち上げました。

■これまでのテーマと情報提供

回	実施日	テーマ	情報提供	参加人数
1	2010/09/06 月	グループ・ワークの実践と課題	田澤：写真を用いた自己理解ワークの実践報告	8
2	2010/12/06 月	大学におけるキャリア教育の課題と関係者間の連携	田澤：大学におけるキャリア教育の課題	13
3	2011/02/10 木	『先輩の就活体験を語る会』を生きた学びにするための場のデザインとは～コーディネーターは、どう関わればよいのか～	田澤：学習の転移（形式陶冶／実質陶冶）	11
4	2011/06/02 木	「基礎学力」とキャリア支援	田澤：難関大学と非難関大学の学びの違い	11
5	2011/09/08 木	「自己効力感」をのばす体験としかけ	田澤：自己効力感理論からみた 大学生の支援 荒井：集団と効力感の 幸せな関係	12
6	2011/12/01 木	学生同士のピアサポートと支援者のサポート～可能性と限界～	磯田：学生同士のピアサポートと支援者のサポート 松木：就活支援学生団体について ※オンライン参加	9
7	2012/03/02 金	学生タイプ別にみた効果的なキャリア支援方法	後藤：学生支援推進プログラム・アンケートから分かったこと	14
8	2012/05/14 月	就活シーンにおける SNS ～企業や学生で利用が広がる SNS。どうする就職支援～	古澤：SNS 活用事例～キャビンアテンダントを目指す女子学生のキャリア支援～ 米田：キャリア支援者 SNS 活用度アンケート REPORT 平野：SNS の活用レポートと炎上問題	18
9	2012/07/09 月	キャリアセンターの利用率を上げるために	道幸：利用推進のための取り組み事例 ※オンライン参加 田澤：学生のキャリアセンター利用についてのレポート	13

■テーマの傾向

振り返ると、大きく 3 つのカテゴリーに分けられます。

- ・学生の心理やタイプについて
- ・支援ツールについて
- ・支援者について

要約すれば 「どんな学生に、どのようなアプローチで、どんな人たちが支援しているのか？」
についてテーマにしてみました。

●これまでの大きな流れとこれからも大切にしていきたい事

研究や学知の話題提供に足場を置きながらも、参加者相互の対話の場やつながりの場へ変化してきたと考えています。同じキャリア支援という大きなフィールドに身を置きながらも、教員、キャリアセンターの職員、フリーランスのキャリア支援者、企業の採用やマッチングに関わる仕事をされている企業の方など幅広い方が集うことの意義も多い場に成長しているのではないかと感じています。

参加者のみなさんの経験や知見が共有され、日々の仕事に役立つ対話やつながりが産まれる場として今後も続けていきたいと思えます。